

# 北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会  
札幌市中央区北4条西12丁目  
1976年7月9日第3種郵便物認可



NPO推進北海道会議  
北海道NPOサポートセンター

【12月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを創設しよう！ 【2001年12月発行】

もくじ	ページ
● アメリカのコミュニティビジネス	2
● 情報化人材バンク交流会報告	3
● 市民活動全道フォーラム	4~5
● NPOな／新刊・情報誌・講座・募金	6
● 情報BOX／活動短値	7
● 助成金情報	8



## 「NPO法人連絡会」のお知らせ

日時：2001年12月15日（土）午後1時～4時  
場所：札幌市中島体育センター 2階講堂

（札幌市中央区中島公園1番5号 電話：011-530-5906）  
地下鉄「中島公園」又は「幌平橋」下車 徒歩5分

テーマ：「行政からの委託事業～来年度予算編成に向けて」  
「事業型NPOの資金繰り（融資制度のあり方）」

●参加費 500円

政府は、開会中の臨時国会で地域のニーズに沿った雇用機会の創出として、「緊急地域雇用創出特別交付金」を都道府県に交付（総額3500億円）し、都道府県が地域の実情に応じ、緊急かつ固時的な雇用（新公共サービス雇用）を創出する事業を実施することとなっています。北海道には153億円が配分される見込みで、開会中の道議会で基金造成が議決される予定です。

NPO推進北海道会議と北海道NPOサポートセンターでは、上記緊急雇用対策事業を含め、新公共サービス事業の担い手としてのNPOの活用を速に働きかけており、幾つかの具体的な政策提言も行っております。

このような情勢を勘案し、今回は道からも関連部署の参加をもとめ、上記テーマでのNPO法人連絡会を企画いたしました。この機会に多くのNPO法人の代表者・関係者のみなさまと議論を深めたいと考えています。

また、事業型NPOにとって緊急のネックになっている「資金繰り」「融資」についても議論を進めたいと考えております。是非ご参加下さるよう、ご案内いたします。

＊ 当日ご参加の方には、安田火災記念財団発行の「NPO法人運営実務の手引き」  
「活動資金確保の手引き」と、希望者にNPO法人NPO事業サポートセンター  
発行の「福祉移動運営マニュアル」を配布します。（いずれも無料です）

＊ 準備の都合がございますので、ご参加の方は北海道NPOサポートセンター  
（担当：津田）までご連絡下さい。電話 011-756-0001

FAX 011-716-2899  
e-mail: npo@mb.infosnow.ne.jp

# アメリカのコミュニティビジネス (1)

NPO推進北海道会議 事務局長 佐藤 隆

東京のNPOサポートセンターのプログラムで10月29日から11月7日まで、米国のNPOを視察する機会が与えられた。これは前記センターとアメリカ大使館の共同企画によるもので、訪問地は東部のワシントン市、バッドアロー市、ニューヨーク市の3都市。もちろん、9月11日のテロ以前に組まれていた日程がそのまま実施されたものだ。訪問メンバーは5名で、それぞれ専門分野が異なるため訪問先は様々な領域におよんだ。ここでは、数回に分けてコミュニティビジネスに関連する米国NPOの報告をする。

## 「ASSOCIATION FOR ENTERPRISE OPPORTUNITY」(AEO)

10月29日に訪問したAEO(ワシントン市)は、全米各地に地域組織会員を持つマイクロエンタープライズ(ME・個人及び従業員5人未満の組織)支援を行う団体。各地の425の会員はME希望者に対し教育、訓練を行う。米国内でも東海岸・西海岸・中西部は活動が盛んだが、南東部・南西部にはME支援の会員組織が少なく、この地域に会員組織を作ることが当面の課題となっている。MEを活発に立ち上げることは、政府からも高い支持を得ている。現在、全米に1,100万のMEがあり、そのうち200万は貧困層からのME化であり、各地の会員はこの貧困層を中心に支援活動を行っており、AEOは各会員を支援するプログラムを作っている。このME支援に関連してAEOは米国政府に147,000ドルと120,000ドルのふたつのプログラムをプロポーザルしており、行政府からの委託事業はプロポーザルによって獲得する事が多いようだ。

AEOは年に4回、会員に向け全米規模で研修会議を持ち、新しい教育プランを提供している。毎回800人位参加し参加費は500ドルで、参加に必要な旅費等は各会員負担となっている。

たとえば、教育プログラムの主なもののひとつは、MEを志す人に銀行との関係の持ち方を教育すること、自立することの大切さを教えることである。特に女性に対し、どうしようもない貧困からの立ち上がり支援している。たとえば、シングルマザーで3人の子供がいて貧困層の中で暮らしている人に、自立して生活出来る自信をMEを通して持ってもらおうプログラムを行っている。

また、アメリカンエクスプレスとのパートナーシップを組んでいる。コミュニティビジネスと印刷されたアメックスカードを発行し、売り上げの1%が活動資金として還元されている。これまで、米国ではコミュニティビジネスということばが使われてこなかったが、初めて米国で目にした。これまでのマイクロビジネスという一般的な起業をあらゆる言葉より、社会的課題の最も先鋭な人たちとして出ている貧困と女性の状況に対してコミュニティビジネスが大きな力となりうる事が、米国でさえ(?)この少しの間に出てきているようだ。

### 特定非営利活動促進法に基づくNPO法人申請受理数・認証数(暫定数)

全国の申請受理数「北海道含む」 【11月30日現在】 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数
	6312	5448	25
道内の申請受理数 【11月30日現在】(北海道)	271	246	0

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。<http://www.with.pref.hokkaido.jp/npo/index02.html>

## 北海道情報化人材バンク交流会報告

今年度、北海道では地域の情報化をサポートするボランティアを募集し、町内会などの地域団体やNPO等市民活動団体・ボランティア団体の要請に応じて情報化を支援する「北海道情報化人材バンク」事業(委託:北海道NPOサポートセンター)を行っています。その一環として情報化人材バンクに登録されたボランティアとNPO等のボランティア活動を希望する団体との交流会を企画しています。この度、札幌と旭川、函館で交流会が開催されました。その概要を報告します。

### 情報化人材バンク札幌交流会 10月20日(土)午後1時~3時北海道厚生年金会館

参加者160人 サブタイトルを「ITマッチング、メンター&クライアント」と題して、IT活用市民団体とIT関連事業者の展示スペースを20コマ用意。道庁情報政策課日下主査による事業概要の説明、IT活用推進NPO・4団体によるプレゼンテーション、NPO法人インフォメンターによる情報化人材バンクの仕組みを分かりやすく説明した「ITマッチング、メンター&クライアント」寸劇であったという間の2時間でした。引き続き市民活動団体情報化推進シンポ・展示会も開催しました。

**情報化人材バンク道北圏交流会(旭川)** 11月22日(木)午後6時半~8時半旭川ときわ市民ホール道北3支庁管内対象で開催。参加者23人 旭川NPOサポートセンターの協力で実施。ITサポート事例として「デジタル寺子屋」など4団体がプレゼン。中川町、浜頓別町など遠隔地からも参加がありました。メンター、市民団体、行政の初顔合わせで今後この地域での人材バンク事業の手がかりを作ることができました。

**情報化人材バンク道南圏交流会(函館)** 11月30日(金)午後6時半~8時半 サン・リフレ函館渡島・檜山支庁管内対象で実施。参加者は20代~70代の26人。道教大の内田講師による「富山県山田村のIT事例」の講義を受けた後、あいでつくすメタネットワークの事例発表、NPOサポートセンターの道内NPOのIT事例説明があり、全員で意見交換しました。NPO推進道南会議の協力で実施しました。

**今後の予定** 情報化人材バンク道東圏交流会(帯広)2002年2月15日(金)午後6時半~  
情報化人材バンクオホーツク圏交流会(北見)2002年3月8日(金)午後6時半~

### 国際協力事業団青年招へい事業中央アジアの青年と語ろう-合宿セミナー-参加者募集-

北海道YMCAでは、中央アジア5カ国(ウズベキスタン・キルギス・カザフスタン・タジキスタン・トルクメニスタン)で経済活動(行政・会社経営者・会社員)に従事している青年との合宿に参加する日本人青年を募集しています。これは、国際協力事業団(JICA)が毎年、途上国の青年を招へいして専門分野の研修を日本各地で実施しているプログラムで、北海道YMCAは札幌で行われる経済の研修において協力しています。

中央アジア各国の青年は、経済に関する職業に従事している公務員、会社員、企業家のリーダーです。彼らの滞在中に合宿セミナーに参加して、経済活動を通じての国際交流について互いに学び、情報交換をして友情を育てませんか。合宿セミナーに参加を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

日 時: 2002年2月1日(金)午後6:00から2月3日(日)午後3:00まで(2泊3日)

場 所: グリーンホテル札幌(札幌市南区川沿4条2丁目 電話011-571-3111)

参加費: 無料(経費は主催者が負担します。交通費を支給します。)

#### <スケジュール>

2月1日(金) 集合、オリエンテーション、カントリーレポート

2日(土) 午前中: 基調講演・グループディスカッション 午後: レクリエーション、交流の夕べ

3日(日) 午前中: グループディスカッション 午後: 全体会議・発表

合宿セミナーのカントリーレポート、基調講演、ディスカッション、全体会議には通訳が付きまますので語学力は問いません。積極的なご参加をお待ちしています。

応募資格: 1 経済交流に関心がある。2 中央アジア諸国に関心がある。3 国際協力に関心がある。

\* 公務員・会社員・会社経営者・学生・NGO関係者・一般市民

\* 2回の事前説明会(1月15日(火)及び1月26日(土))に出席できる20代~30代の男女。

\* 応募者多数の場合は選考の上決めさせていただきます。

募集人数: 25名

応募締切: 2001年12月25日

申し込み先: 北海道YMCA 〒064-0811 札幌市中央区南11条西11丁目

電話011-561-5642 FAX011-563-0041

担当: 佐藤 Eメールでの申込: satou@kitala.ncc.jp

# 1月19日~20日 市民活動全道フォーラム開催のおしらせ

## 開催の主旨

お金のためだけに働くのではなく、人々に役立つ仕事がしたい。企業に就職せずに自分のしたいことを職業にしたい。

人々が必要としていること、この社会に欠けていることを発見し、それを事業化したい。暮らしや仕事、自分たちのまちのことは自分たちで決めたい。そんな思いが「形」になって、暮らし・地域・仕事の場で市民活動が活発になっています。私たちの社会が抱えるさまざまな問題解決のために、こうした市民の活動が不可欠になっているのです。

NPO 法施行から3年が経ちました。道内のNPO 法人数は220 団体を超え、加速度的に増えています。その中で、多くの市民活動団体が事業を拡大したり、行政や企業から事業を受託するなど質的な成長も速けています。

とはいえ、セクター全体の力量はまだまだ微弱です。行政セクター、民間営利セクターとともに対等に社会的役割分担を担うセクターへと市民セクターが成長していくことが求められているのです。

そうした市民活動の活性化のために、市民活動全道フォーラムを開きます。これから市民活動を始めたい人、始めたばかりの人、そしてベテランの市民活動家、そして、行政や企業の人、NPO 研究者、みんな集まれ! 北海道の市民活動団体や関係者が一堂に会した集まりは初めてといつて良いでしょう。環境、福祉、国際交流、文化などの分野を超えた交流を行いましょう。みんなで交流し、悩みを出し合い、失敗例や成功例を交換しあいましょう。

市民活動初歩の初歩、会計や組織運営、資金調達などをテーマにした NPO 実務講座、市民活動交流パネル展示もあります。こうした、ひとつひとつの企画がみんなの共感を広げ、明日への一歩を踏み出すパワーになれば、というのが私たちの願いです。

## フォーラムの概要

●開催日時：2002年1月19日(土) 午前10時~午後8時30分

1月20日(日) 午前10時~午後3時45分

●開催場所：「かでる2.7」(北海道立市民活動センター、札幌市中央区北2条西7丁目)

大会議室、1階展示ホール、510、520、530、550、710

●参加費 無料 ●参加申込み：次ページに記載

●主催 NPO法人北海道NPOサポートセンター、北海道立市民活動促進センター

●プログラム(予定です。内容、部屋割りに変更になる場合があります)

1月19日(土)

●A 午前10時~12時 オープニングパネルディスカッション (4階大会議室)

「北海道発・地域おこしの成功例(のウラ話)」司会 森田麻美子(NPO法人ポラナビ倶楽部代表理事)  
~ 市民、行政、企業の立場から地域おこしを成功させた北海道のリーダーが、そのウラ話を披露します! ~  
・遠坂誠二(ニセコ町長)  
・長谷川岳(YOSAKOIソーラン祭り組織委員会専務理事、株式会社yosanet 取締役)  
・宮田昌利(札幌Biz Cafe 運営会議議長、株式会社サンエス・マネジメント・システムズ代表取締役)

●B 昼12時~午後1時 昼食休憩 移動(1階展示ホール「NPO/NGO団体PR広場」見学など)

●C 午後1時~3時

分科会1-1 「NPOと協働」(4階大会議室216人)

(NPOと行政の協働、政策提言、委託のあり方、支援センターのあり方などをディスカッション)

分科会2-1 「市民活動初歩の初歩」(520会議室 108人)

分科会3-1 「NPO実務講座1「NPOの会計事務」」(510会議室 54人)

●D 午後3時~3時半 移動(1階展示ホール「NPO/NGO団体PR広場」見学など)

●E 午後3時半~午後5時半

分科会1-2 「NPOと協働」その2(4階大会議室216人)

(NPOと行政の協働、政策提言、委託のあり方、支援センターのあり方などをディスカッション)

分科会2-2 「やってみよう! 地域通貨」(520会議室 108人)

分科会3-2 NPO実務講座2「労務管理実務」(510会議室 54人)

分科会4-2 「らく2(楽々)ホームページ&ねっとぼ金」(7階710会議室 96人)

\*内容 前半) ホームページ作成模擬講座風のプレゼンで実際に実在の団体に模擬HP作成に取り組む。そのあとメンターの必要性と有効活用、ねっとぼ金につなげられる旨のプレゼン。

後半) ねっとぼ金に登録している典型事例団体の紹介を交えて、重要性をアピール

- F 午後5時半～午後6時半休憩/移動(1階展示ホール「NPO/NGO団体PR広場」見学)
- G 午後6時半～午後8時半
  - 分科会1-3 国際協力って何?(4階大会議室216人)
  - 分科会2-3 ボラナビの集い(520会議室 108人)
  - 分科会3-3 NPO実務講座3「組織運営と資金調達(510会議室 54人)
  - 分科会4-3 「会をつくりたい、つくる、活動する、苦労話いろいろ。」(7階710会議室 96人)
- H 1月20日午前10時～12時
  - 分科会1-4 「新しい働き方とNPO」(4階大会議室216人)
  - 分科会2-4 「市民がつくる“未来への学習”～NPO・NGOと学校との連携を考える～」(520会議室)
    - <趣旨>NPO・NGOの活動の中では、地域、環境、国際理解、人権など未来に向けての課題を学ぶ様々な学習が行われています。これまでの学校教育に欠けがちだったこれらの学習を広めていく上で、NPO・NGOと学校現場が連携を進めていくにはどうしたらいいのか、一緒に考えたいと思います。
  - 分科会3-4 NPO実務講座「NPO法人の仕組み」(510会議室 54人)
  - 分科会4-4 「NPOの広報広告戦略～人を集めるチラシ作りとPR手法」(7階710会議室96人)
    - 内容 活動内容をアピールしたりイベントへの参加をよびかけるときにちょっと目を引くチラシを作りたいもの。印刷物制作の秘訣やメディアの利用法などを伝授。
    - 講師：森影依氏(コピーライター、インテリジェントリンク代表)プレゼンテーション
- I 昼12時～午後1時(昼食休憩、1階展示ホール「NPO/NGO団体PR広場」見学など)
- J 午後1時～3時 まとめフォーラム(4階大会議室216人)
- K まとめフォーラム「教えて！アメリカの先進例」北海道の比較的新しい形のNPO(的)活動を一挙紹介。アメリカでは、それぞれと似たものがすでに成熟期に入っていると、アメリカでNPOのジャーナリストとして活躍されていた岡部一明さんに、それぞれの活動について解説していただきます。
  - 解説・進行 岡部一明氏 東邦学園大学地域ビジネス学科助教授(NPO論)
  - ケース1 中山慶一氏 NPOインフォメンター理事
  - ケース2 山田澄子氏 北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会 会長
  - ケース3 加藤知美氏 さっぽろ村コミュニティ工房 工房長
  - ケース4 森田麻美子氏 NPOボラナビ倶楽部 代表理事

## 【常時開設コーナー】

1階展示ホール「NPO/NGO団体PR広場」(60コマ予定)

5階550会議室「交流広場」開設時間 19日(土)正午～午後8時45分

20日(日)午前9時半～午後3時30分

## ●参加申込み/お問い合わせ

参加人数把握のため、オープニングフォーラム・まとめフォーラム・分科会に参加を希望される方は事前にお申込みをお願いします。(〆切1月18日 但し会場定員になり次第終了いたします)

なお19日の昼と夜、および20日の昼については希望者にお弁当を販売します(600円・要予約)。

申し込みはFAXかE-mailで。

- ①参加を希望するフォーラム、分科会の番号・タイトル
- ②お名前 (市民活動団体に所属されている場合は差し支えない範囲で団体名もご記入下さい。)
- ③ご住所 ④電話番号 (お持ちの方はFAX、e-mailもご記入下さい。)
- ⑤お弁当(ワーカーズコレクティブ作成)が必要な方は必要な日(19昼・19夜・20昼のいずれか)を記入の上、下記宛先にお送りください。

・申し込み宛先/FAX: 011-716-2899 E-mail: npo@mb.infosnow.ne.jp

※お弁当については1月14日〆切

・お問い合わせ先/TEL: 011-756-0001 (北海道NPOサポートセンター)

1月19日(土)午後1時～3時 かでる2.7 710会議室で、北海道石狩支庁主催の「いしかり地域市民活動団体！T活用シンポジウム」が開催されます。参加費：無料

シンポジウムの内容(予定)

第1部 岡部一明 東邦学園大学助教授による基調講演(45分)

第2部 市民活動団体によるプレゼンテーション(3団体 45分)と参加者意見交換(30分)

問い合わせ先：石狩支庁地域政策部地域政策課 主査 関口さん

札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館 TEL 011-231-4111 (内線34-258)

**新刊** 置らずに置く植林の革命！  
まんが「未来への森づくり」  
未来からやって来た少年の叫び！

「カミネッコン」ってご存じですか？  
段ボールでできた植林のためのバイオブロック（ポットと土と土ふたが一体化したもの）で、組み立てて使用します。湿らせた新聞紙と培養土と苗を組み立てたカミネッコンに入れ育てます。

植樹する場所にカミネッコンを置き、土や石で安定させ、間伐材で作ったウッドチップ（無ければ古新聞紙）で外側をマルチングして植樹が完成します。材料が段ボールなのでいずれ風化して、自然に戻るという訳です。

この仕組みを、劇画にしました。未来を担う子どもたちに、森林の大切さをわかりやすく説明し、遊び感覚で植林を進めています。

B5版30ページ

作・画 藤岡照也 1冊 380円

監修 東 三郎（北大名誉教授）

企画 北海道NPOサポートセンター

発行 (株)クルーズ

問い合わせ 北海道NPOサポートセンター  
でんわ 011-716-3369

**イベント** 市民活動研修交流会開催（旭川）

目的 ボランティアやNPOなどの市民活動に取り組んでいる団体と、これらの活動に参加したいがきっかけがつかめないという市民を対象に、市民活動の持っている可能性を探り、地域の課題解決に主体的に取り組む市民活動の発展を図る。市民と市民活動団体のマッチングができる、ボランティア人材バンクのきっかけ作りとする。

主催 旭川NPOサポートセンター  
北海道立市民活動促進センター

開催日 1月27日(日) 午後1時～午後4時30分  
場所 トーヨーホテル2F 会議の間  
(旭川市7条7丁目右1 TEL:22-7675)

テーマ 市民活動チャレンジセミナー  
～活かしたい！わたしの(ち)・体(か)・  
姿(ら)(智恵・体・美しさ)～

対象者 ・ボランティアやNPOなどの活動に関心のある市民

・ボランティアやNPOなどの活動団体

定員 60名

講師 伏島信治氏（札幌国際大学観光学部教授）

※初参加者 NPO及びボランティア団体代表者6名

受講料 無料

申込み先 旭川NPOサポートセンター

旭川市2条通り8丁目2条ビル3F

TEL・FAX 0166-27-3383



NPOな...

**講習会** 【ボランティア研修・NPO研修】  
NPO法人会計管理研修会

対象 福祉系NPO法人、法人格取得予定の福祉系  
非営利団体の会計事務を担当している方

目的 NPO法人における会計処理の方法を学び、  
より円滑な会計事務を行えるようにすること  
を目的とする。

受講料 500円

日程 12月19日(水)

10:00～12:00

「日常会計業務の整理方法」

NPOサポートセンター事務局長小林直信

13:00～15:00

「予算・決算に伴う会計業務の進め方」

公認会計士・税理士 上野昌美

会場 札幌市ボランティア研修センター

2階第3研修室

(札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ)

申込受付 12月5日～12月12日

問い合わせ：札幌市ボランティア研修センター

電話223-6005 FAX261-8881

**募金** アフガン難民の子どもを支援する  
ユニセフ緊急募金

あなたの募金でアフガンの子ども達にこんな支援  
ができます

5000円・下痢による脱水症から命を守る経口補  
水塩(ORS) 681人分

10000円・栄養不良で衰弱した子を救う緊急補助  
栄養食「ユニミックス」

694食分

30000円・毛布 106人分

50000円・避難用テント 41張分

100000円・教材セット 240人分

募金方法

1 郵便振込で：00110-5-79500  
(財)日本ユニセフ協会

2 クレジットカードで  
0120-88-1052

3 インターネットで  
www.unicef.or.jp

## 【企業の社会貢献情報】 NTT ドコモ北海道からパソコン 72台寄贈

「北海道NPO情報」2001年1月号で、NTTドコモ北海道のパソコン助成情報を掲載したのをご存じですか。当初8月に寄贈の目録でしたが、この度、下記の39団体に72台のパソコンが配布されることになりました。（北海道NPOサポートセンター紹介分）。富士通デスクトップパソコン CPU:Pentium233Mhz, HDD:3.2GB, DSP:17' CRT, DRV:3.5FDD, CD-ROM, RAM:96MbSMM, OS:Win98SE インストール済みというスペックです。

ドコモの中古パソコン寄贈プログラムは、「クリーニング後、windows98をインストールした状態で、OS動作確認、利用団体名を登録の上、梱包し希望団体に発送。」という親切なものです。提供を受けた団体には、別途配送予定日等をお知らせします。是非、有効活用をお願いいたします。

北海道ワーカーズコレクティブ連絡協議会、たすけあいワーカーズどんぐり、たすけあいワーカーズこすもす、託児ワーカーズ・プーのいえ、子育て支援ワーカーズ・プチトマト、デリバリー・ばる、えこふりい、たすけあいワーカーズ・こころ、NGO北海道FWMネットワーク、北海道難病連共同作業所、江別市見晴台自治会、旭川NPOサポートセンター、NPO国際パークゴルフ協会、障害児者の教育と福祉を進める会、2002年第6回DPI世界会議札幌大会組織委員会、財団法人北海道ユースホステル協会、オーディナリーサーヴァンツ、地域福祉支援センター・ウォーク、ひびきの村、福祉サービス協会わかさ、トラストサルン鐵路、NPO法人北海道アイデアランド協議会、応援、ワックさっぽろ、介護グループえくぼ、介護グループむらさき、ネット・マサカーネいぶり、ふれあいIN・SAROMA、野幌点字を考える会、点訳の輪、ひまわり共同作業所、NPO創発科、北海道高等官学校パソコンクラブ、気軽に街に出る障害者応援グループあしの会、かかし共同作業所、ホワイトストーン、つばき共同作業所、ホームヘルパーノア、ボランティア「杜の家」以上39団体に72台。（12月10日発送予定）

### 【企業の社会貢献情報】 その2

#### □■□NTT東日本がLモード端末（電話機）をNPOに寄贈□■□

【大至急情報】 東京のNPOサポートセンターからの情報で、NTT東日本がLモード（電話機）を500台NPOに寄贈されるとのことです。関心のあるNPOはご連絡下さい。

詳細情報は、FAX（A4版9枚）またはe-mailでお知らせします。

011-716-2899（北海道NPOサポートセンター）宛12月8日までに「Lモード詳細情報希望」と書いてお送り下さい。団体名、FAX番号（e-mailをお持ちの場合はメールアドレス）を明記して下さい。（電話でのお問い合わせは受けておりません） 申込み切は12月9日（日）です。

### ●活動短信●情報BOX●

#### Win Win エネルギー政策 最前線

日時：12月15日（土） 午後1時半～4時  
場所：北海道クリスチャンセンター2階大ホール  
札幌市北区北7条西6丁目（T・011-736-3388）

<プログラム> 話題提供

新たなエネルギー文化としての省エネ・省電力  
山藤 泰（元大阪ガス社員・文化研究所理事）

新しい省エネルギー政策

大林ミカ（環境社研・政策研究所副所長）

地域で実践・三重県のエコポイント制度

中嶋 中（三重県環境部環境政策課環境創造室）

グリーンファンドより「省エネビデオ」上映と活動報告  
第2部 パネルディスカッション

進行役

小野有五（北海道大学大学院地球環境科学研究科教授）

主催：NPO法人北海道グリーンファンド

電話・011-280-1870

後援：北海道経済産業局、北海道、札幌市

日時：12月11日（火）～16日（日）

11日 12:00～18:00

12日～15日 9:00～18:00

16日 9:00～18:00

会場：札幌市資料館（札幌市中央区大通13丁目）  
入場無料

主催：アムネスティ札幌28グループ

死刑廃止ネットワーク北海道

後援：札幌国際プラザ 協力：死刑廃止国際条約の批准を求める四国フォーラム 問合せ先：アムネスティ札幌28グループ（高見：011-622-5453）

日本・アフガニスタン合作映画

#### 「よみがえれカレズ」上映会

日時：12月18日（火）

場所：札幌市教育文化会館 講堂

（札幌市中央区北1条西13丁目）

1回目 14:30～ 2回目 18:30～

前売券 800円 当日券 1,000円

チケット取り扱い：シアターキノ、これからや、大丸プレイガイド、4プラプレイガイド、円山プレイガイド（円山バスターミナル）、新札幌デュオプレイガイド  
主催：さっぽろ自由学校「遊」

協力：シアターキノ、アガニスタに平和を市民連絡会  
問合せ先：さっぽろ自由学校「遊」

TEL 011-252-6752 E-mail:syu@mbp.sphere.ne.jp

#### 札幌いのちの絵画展

獄中で死と向き合いながら描かれた絵があります。極限の状況から生み出された作品が、あなたにそっと問いかけます。その声に耳を傾けてみませんか。

【コンカリーニョ】バレン座公演

助成金情報

ちゃっかり八兵衛

マキノノゾミが渾身の力を抜いて書いた元禄モノ愉快芝居に紅千鶴がイキんで挑戦—横尾 (HAPPY)、柳田 (芝居のbんと箱) が「くれない芝居」初参加。どんな“笑い納め”になりますやら。乞、ご期待!

日時: 2001年12月19日(水)~23日(日)

- \* 19・20・22日 19:30~
- \* 21日 20:00~
- \* 22・23日 13:00~

会場: 等似日食倉庫コンカリーニョ  
(札幌市西区八軒1条西1丁目)

入場料: 前売り2000円(当日2500円)  
問合せ: コンカリーニョ (TEL 011-615-4859)

(財) たばこ産業弘済会  
(社) 日本フィランソロピー協会

「がんばれNPO!」プロジェクト助成

- 対象: 市民ボランティア活動を推進及びそれらの活動を支援する法人または公益法人
- 期間: 平成14年度上期(14年4月~14年9月)に実施を予定している活動に対する助成
- 分野: ①高齢者および障害者福祉の増進を図る活動 ②環境の保全を図る活動 ③青少年の育成を図る活動
- 助成額: 助成対象事業に要する支出額の80%以内とし、200万円を上限
- 締切: 2001年12月14日(金) 消印有効
- 申込・問合せ先: 「がんばれNPO!」プロジェクト事務局(担当: 佐々木)  
(社) 日本フィランソロピー協会内  
〒106-0041  
東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7F  
TEL 03-3568-3241 FAX 03-3568-3245

海外環境研修ツアー2002

ヨーロッパ・車と共生するまちづくり編

期間: 2002年2月3日(日)~10日(日)

費用: 大人 298,000円

エコツアー利用、2名1室、朝食6回分、通訳料含む

定員: 15名(最小催行10名)

同行コーディネーター: 小田高史(フリー通訳)

申し込み締め切り: 12月28日(金)

旅行取り扱い: JTB

企画: エコ・ネットワーク

(財) 北海道環境財団

申し込み・問い合わせ先

エコ・ネットワーク

札幌市北区北9条西4丁目IAビル8F

電話: 011-737-7841

セブニーイレブンみどりの基金

環境市民ボランティア活動助成

1. 対象: 活動の目的が①自然環境保護②地域環境美化③体験型環境教育④生態系保護⑤環境パートナーシップに基づく地域づくり・まちづくり及び、活動の種類が①実践活動②調査・研究③啓蒙活動④環境市民ボランティア間のネットワーク活動
2. 助成額: 上限はあえて設定せず
3. 応募締め切り: 2002年2月28日(木) 必着
4. 応募方法: 申し込み書に必要事項記入の上
5. 問合せ・申込先: 〒105-0013 東京都港区浜松町1-27-9  
新浜松町ビル6階

セブニーイレブンみどりの基金

環境市民ボランティア活動助成事務局

(担当: 高木・兵頭)

Tel 03-5733-2526 Fax 03-3435-1065

E-mail [oudo@7midori.org](mailto:oudo@7midori.org)

NPO法人 札幌室内歌劇場 第25回公演

オペラ「パッハ物語」

構成・編曲・台本: 岩河智子 演出: 中津邦仁

日時: 2002年1月19日(土)

午後3時30分会場 4時開演

会場: 札幌サンプラザホール

(札幌市北区北24条西3丁目)

地下鉄北24条駅徒歩3分)

入場料: 一般 4000円

会員 3600円

チケット予約・問合せ: オフィス・ワン

TEL 011-612-8696

NPO法人 エスニコ ~会員とスタッフ募集~

内容: 日本語を母国語としない人々と医療機関とのコミュニケーションをサポートします。日常的な異文化交流を通して市民と隣国の人々の心の交流を深めます。

問合せ先: エスニコ

電話 011-709-2588

FAX 011-709-2558

e-mail: [shinako@na.nweb.ne.jp](mailto:shinako@na.nweb.ne.jp)

NPOを広めるNPO

NPO法人 NPO推進北海道会連

代表理事 上田文雄(弁護士)

杉岡直人(北星学園大学教授)

杉山さかえ(北海道グリーンネット理事長)

田口 晃(北海道大学教授)

横山純一(北海道大学教授)

事務局長 佐藤 隆

NPOを応援するNPO

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 上田文雄 事務局長 小林重信

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

TEL (011) 716-3389 FAX (011) 716-2899

E-mail [npo@nb.infosnow.ne.jp](mailto:npo@nb.infosnow.ne.jp)

<http://www.infosnow.ne.jp/~npo/mainindex.htm>